

(様式2)

令和 6 年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1592500126		
法人名	社会福祉法人 真心福祉会		
事業所名	グループホーム まごころ(2ユニット共通)		
所在地	新潟県胎内市大出730番地1		
自己評価作成日	令和6年8月15日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/15/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=1592500126-00&ServiceCd=320&Type=search
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	公益社団法人新潟県介護福祉士会		
所在地	新潟県新潟市中央区上所2-2-2		
訪問調査日	令和6年10月29日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・令和2年5月1日に開設しました。併設している特養まごころの里きとのの入所者や職員と交流ができ、毎年合同で行事を行っています。また、管理栄養士より食中毒の研修を受けたり、食事についても色々と相談に乗っていただける環境となっています。

・昨年4月より看護職員が入職致しました。今でも特養の看護職員とも連携を図って正確に業務を遂行できる体制になっています。

・毎日のレクリエーションや作業にも力を入れ、月に1回はドライブに出かけたり、おやつを職員と一緒に作るなどしています。

・毎年地域の夏祭りでは、地元の子供たちのお神輿や獅子舞など披露しております。馬や犬猫ボランティアさんの受け入れも行い、利用者にとっても喜ばれています。

・新型コロナウイルスが5類に移行したことに伴い面会や家族様の外出の緩和を行って家族様との交流を深めております。また、今年度より施設理念を『まごころで支える地域の笑顔』と変更しこれからはもっと地域に溶け込む努力をしていきます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

●利用者、家族、地域との信頼関係の構築を目指して
事業所は小学校の跡地に建設され田んぼに囲まれたのどかな立地の中にある。大雨による浸水を防ぐため地面から少し高く造られており、全ての出入口にはなだらかなスロープがあり、浸水対策とバリアフリー化が徹底されている。幾多の近年の災害被害にも負けずに地元密着で頑張っている。事業所内の開放感のあるリビングでは利用者の力がそれぞれ発揮できるよう職員は常に努めている。また、面会や外出、受診の付き添い等で家族がよく足を運んでおり、その際に職員が利用者の様子を細かく伝え、また利用者のことだけでなく家族自身の最近の状況や体調など聞くようにしており、家族との信頼関係の構築に丁寧に取り組んでいる。もちろん管理者も各フロアに入ること、利用者の様子をより近くで感じたり、職員の気づきや細かい声なども拾えるように努めている。

●地域と共に新理念と笑顔で支える取り組み

以前の理念が全職員に浸透したこともあり、新たに今年4月「まごころで支える地域の笑顔」と理念が作成された。今回の理念は、職員より地域の方に向けた理念にしたいという声を基本に、施設がもっと地域に溶け込み地域の方が笑顔になることを願い考えられた。今も事業所に移動スーパーが来てくれることで、その日は地域の方も買い物等に来られ地域住民との交流が盛んとなっている。また、夏祭りでは地域の方から参加してもらい地域とのつながりを深めるなど、利用者や職員、そして地域の方が笑顔になれる行事を開催している。周知の回覧板を利用者と一緒に隣組へ届けたり、地元の床屋を利用したりとコロナ禍等で地域との交流ができない期間があっても、地域との繋がりを維持できるように努力している。今後もより地域に溶け込んでいくことで、利用者も職員も地域住民も笑顔になれることを目指している。

●協力医との連携体制の充実

事業所は協力医の協力支援を幅広く受けており、毎月の定期的な往診の他にも、急変があった時は夜間でも駆けつけてくれる体制であり、救急車要請等の相談にものってもらっている。